

令和4年 1月教育委員会定例会会議録

日時 令和4年1月19日(水曜)

10:02~12:05

場所 総合文化会館 研修室4

出席者：森田教育長、馬場委員、小柳委員
谷口委員、山下委員

事務局：福田次長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 井関所長欠席

2. 会議録署名委員氏名

小柳委員、山下委員で了承されました。

3. 前回会議録確認 (省略)

4. 報告事項

1) 教育委員会

12・1月事業報告、12・1月予定について

(別紙により福田次長報告)

※報告事項(質疑・その他)

森田教育長

追加の報告を行います。

馬場委員さんには3小学校の書初め指導を行っていただきありがとうございました。

指導により「書く字」が劇的に変わることを目の当たりにすると専門家による指導は本当に大切だと実感した次第です。

寒い体育館の中でしたが、集中するとジャンパーを脱ぐ子どもがいて、学校における指導の在り方においても大変参考になったところです。

こういった事が子ども達のキャリア教育にもつながり、地域のヒト・モノ・コトに触れさせる、地域の先輩に学ぶということがふるさと教育にもつながります。

地域の人材や文化を学校はもっと受け入れて学ぶことを改めて感じたところです。ありがとうございました。

成人式の写真撮影について、今年から方法を変えたところです。

これまでは男女別に撮影していましたが、時代の流れに応じて男女混合とさせていただき校区毎、東小と中央小区、そして南小区の二つに分かれて撮影しました。

初めてのことで若干時間がかかりましたが、問題なく行えましたので来年もこのような形になると思います。

また、出席できなかつた成人者に考慮しユーチューブ配信も行ったところ
です。

波佐見高校美術工芸科の卒業展については、三年間の作品が展示されて
いましたが、学年が上がるたびに作品が上達するのが歴然としており県展
等で入賞する作品は波佐見高校美術工芸科が最も多いということが実感で
きる素晴らしい作品ばかりでした。

波佐見高校美術工芸科の発展を期待するとともに、町として波佐見高校
全体を支援していく必要を感じたところです。

以上ですが、報告事項でご質問やご意見はありませんか。

谷口委員

成人式の話なのですが、これまでは男女別の撮影でしたが式典が終了し
た会場の外では、校区毎に各々集まって撮影していましたので、校区毎に
撮影されたのは良かったと思います。

森田教育長

今回は7割の出席者でしたが、例年は8割を超える出席者があります。
来年はコロナも落ち着いて多くの出席があることを祈っているところ
です。他ございませんか。

山下委員

私も波佐見高校美術工芸科の作品展に15日に行ったのですが、見学し
て気付いたのは、今年は学校の授業内容が変わっているようで漫画を取り
入れたりされていたので先生方も今の状況に合わせた授業を行われている
と感じたところです。

そういった所も間近で見られたことが良かったです

素晴らしい作品が多かった卒業展でした。

森田教育長

他ございませんか。

馬場委員

12月23日の重要文化的景観の調査検討委員会について(申請が)1
年延期ということですが、昨日の(郷)役員会でもその話題になりました。

その時は、延期はないかもしれないと話合っていたのですが、1年延
期自体は問題ないのですが鬼木地区がどうなるか危惧はしていました。

そういった状況で確実に認定されるかが心配ですがどうですか。

福田次長

この重要文化的景観の経過を申しあげますと4年前だったと思いま
すが、全国棚田サミットが本町で開催された時に文化庁の調査官がお見えに
なりました。

その際に鬼木中尾両地区を見られ、申請を検討してはどうかと話があ
ったところです。

このため十分な調査を行い景観保全について計画が立案できれば認定を
受けられるものと考えています。

また、その調査官もこの検討会にご参加いただき、今回の災害対応につ
いても助言をいただいていますので大丈夫だと考えています。

馬場委員

その調査官も自宅に来られいろんな資料を確認していただきましたの
で、早く認定になればと思ったところです。

福田次長

認定に向けて頑張りたいと思います。

馬場委員

よろしくお願ひします。

森田教育長

他にございません。

小柳委員

私も波佐見高校美術工芸科の卒業展に山下さんの行かれた翌日に行きま

した。

美術工芸科ですので焼き物から絵画まで幅広くあり、どれも素晴らしい作品ばかりでした。見る事が出来て良かったです。

森田教育長
渡邊指導主事

他ございませんか。

初任研・中堅研の資質向上研修会ですが、先週の14日、金曜日に行いました。

東彼杵郡全体で小学校6名、中学校2名の初任者が配置されています。

6月に自分の学級の課題を基に研究テーマを定め取り組んできたところですが、14日はその成果の発表会を行ったところです。

各自20分の発表がありました。初任者の頑張りが分かる発表になっていました。

発表を受けて互いに協議を行い、各校長からの指導助言があったところです。

これからも初任者は配置されますので、学校・地区で初任者を育てていく必要があると改めて感じたところです。以上です。

森田教育長

他にございませんか。

【委員の発言なし】

それでは、次の事項に移ります。

3) 学生等臨時応援商品券支給事業実績について

4) 令和4年度教育委員会事務局関係の予算要求状況について

森田教育長

報告事項(3)についてお願いします。

福田次長

教育長、(4)まで一括でよろしいでしょうか。(「はい」との声あり。)

まず(3)学生等臨時応援商品券支給事業の実績について報告します。

この事業は新型コロナ禍における大学生、短大生、専門学生等の経済的支援を行うことと先月末が申請期限でありました。

実績ですが294名の学生に5万円の商品券を支給できたところです。

学校基本調査による県平均の進学率から316名の予算を確保しておりましたので、大方の方に申請していただいたのではないかと考えています。

また、商店振興会の方々からも評価を頂いており事業を行って良かったと考えております。

続いて、(4)令和4年度教育委員会事務局関係の予算要求状況について報告します。

令和4年度の当初予算については、昨日(18日)に企画財政課長査定が行われ最終的には町長査定を経て決定し議会へ提案することになっていますが、本日現在の要求状況について委員の皆さんにお知らせします。

・資料1に基づき説明

以上ですが、ここで追加の報告がございます。

波佐見高校の支援策ですが、昨年末に波佐見高校の寮として取得した民

家ですがNPOが運営することで計画が進んでいます。

NPOについては県へ認可の申請が終わっているようで代表者も決定しています。

その寮の運営について、先の定例会では美術工芸科女子寮の可能性が高い旨ご報告しましたが、その後の学校側との協議から野球部の寮となる可能性が高いそうです。

これは現在の民間の寮を運営されている方が高齢を理由に止められるそうで、その受け皿として運営したいとの話がありました。

一方で美術工芸科女子寮の対応ですが、新年度の応募の状況等から下宿の形態が望ましいとの判断でNPOにおいて下宿先の登録制が出来るような構想が進んでいるようです。

登録制にして希望者がいれば順次紹介する形をとるそうです。

また、食事の提供ができるよう施設の改修に向けて計画が練られているようです。

そういった計画がありNPOが主体となりますのでその運営費について町が助成を行うことで調整が進んでいます。

年間の予算額が2千万で10年間継続する予算規模になり3月の議会に提案することになっています。

次に報告事項に掲げていませんが、新型コロナウイルス休校等ガイドラインについてご説明します。

最近のオミクロン株の急速な拡大を受けて1月13日付けで波佐見町のガイドラインを改訂し保護者に通知を行っています。

今回第6版ということで、お手元の資料の表中下線部分ですが、保護者等（同居家族含む）に風邪等の症状がある場合は、関係児童生徒は登校を見合わせることにしています。

第5版は、登校することが出来るとしていましたが、PCR検査も順番待ちとの現状があるようですので、万が一を考慮して自宅待機とし保護者等の受診をお願いしているところです。

以上2点を追加しましたが報告事項の説明を終わります。

コロナの状況も含め教育長から補足がございましたらお願いします。

森田教育長

コロナの状況ですが、県内では児童生徒は家庭内感染が多いのではないかと考えています。

本町では保護者から学校に連絡があっており、その後学校から教育委員会に報告があっています。

様々なケースがありますがオミクロン株は検査結果が分かるまで時間を要していますが今までの検査では陰性の結果となっています。

その他に現時点では、4名が検査待ちの状況となっていますが、渡邊先生から学校の状況について説明してください。

渡邊指導主事

各学校1名ずつの検査待ちとなっています。

多くは家族が濃厚接触者になり、その結果を受けて検査を行うか否かの判断待ちとなっていますが、子どもの場合、症状が現れないと検査が行われないとの話もあります。

対象者は10日間の自宅待機で様子を見ることとなっており学校への登校は見合わせていただいています。

現時点で児童生徒が感染した報告はありませんが、4名の検査待ちとなっていますので報告します。

森田教育長

中学校の部活動は他校との交流を行わず自校のみの練習となっています。

一方で器楽や合唱は自粛するよう通知があつていますので、縮小の方向になると思われます。

郡内でも同じような動きですが、今後の感染状況で随時判断したいと考えています。

併せてスポーツ少年団も同じような取り扱いになります。

以上ですが、報告事項についてご質問ご意見はありませんか。

谷口委員

波佐見高校支援の寮のことで質問を受けたのですが、野球部の寮になるのですか。

福田次長

その方向に固まりつつありますね。

谷口委員

野球部と美工科が一緒の寮になるような話もあり、いろんな話が広まっているようです。

福田次長

町が購入した寮は野球部の寮として運営したいとNPO側から話がありました。

美工科の寮については、現状や来年度を見た場合、要望がなく先程申したとおり下宿が良いのではないかとの話がありました。

一方で泉荘の1階をNPOで厨房施設として改修する計画があり、直接寮のためではありませんが、そこを活用することによって食事の提供も検討されているようです。

そうすると泉荘の2階に客室がありますので、行く行くは美工生の寮として整備することも構想としてあるようです。

この美工生の寮については、今後の生徒の入学状況を見て検討されるものと考えています。

その他の動きとして、民間の寮が順次閉鎖されるに伴い長生苑さんが野球部の下宿生徒を引き受けられるそうです。

現在、町内には野球部の寮が3箇所ありますが、残るのは監督の寮だけとなり2つの寮は順次閉鎖になりますので、その受け皿として町が購入した物件と長生苑さんになります。

そういった全体的な流れの中で高校とNPOが協議して方向性が固まりつつあります。

谷口委員

分かりました。ありがとうございます。

森田教育長

最初は美工科の女子生徒の確保の面から構想がスタートしたのですが、野球部の寮が閉鎖になる現実問題がありますので、それらを踏まえて協議がなされたものです。

また、次年度、美工科の入学を希望している女子生徒に寮の希望者がいない事も大きな要因になっています。

安心安全を考えると女子の場合、下宿という選択肢もありますので、ま

ずは下宿の方を検討してみようかとなっています。

下宿やアパートについては、助成制度を設けていますので、その周知と合わせて生徒確保を図る必要があります。

こういった支援策や助成制度については、県内の教育委員会を通じて各中学校にも周知しています。

近隣の市町教育委員会には私と次長で直接支援制度を説明していますので、美工科の生徒の確保を図りつつ現実問題となっている野球部の寮の対応を考える必要があると感じています。

そういった経過もあり様々な関係者において協議が行われている状況です。

小柳委員

島瀬美術センターでの美術工芸科の卒業展に行った際にどこの出身中学か見ていました。

大村市内の中学や佐世保市内の清水中、崎辺中、日字中などが目に留まりました。

こういった支援策でどこまで広がりを見せるか気になるところです。

これだけ実績が上がっていますので、遠距離の中学校でも希望する生徒が増えるかもしれませんので、支援策をアピールして欲しいと思います。

森田教育長

今年度は波佐見中学校から波佐見高校へ進学する生徒が増えました。

これまでは十数名でしたが二十名を超える生徒が希望しており、その中に美工科を希望している生徒が数名いますので、効果があるものと考えているところです。

馬場委員

野球部の受け皿が出来ればいいですね。

そういった支援策をアピールする必要がありますね。

森田教育長

島部の子ども達や遠地の子ども達に住環境が確保できていることをアピールしたいと考えています。

昨日事務局内でも話をしたのですが、県内では離島留学制度があり寮等の住環境が整備されていますので、その逆バージョンとして波佐見留学制度として県内各地から波佐見高校に来て欲しいと願っているところです。

他ございませんか。

小柳委員

個人的に「笑点」のプロデューサーと面識があり、南小学校でも東西寄席をされた経過もありますので、出演されている落語家の中から波佐見町に招いて子ども達に一流の落語を聞かせてみてはと思います。

町人づくり推進事業に合致するか分かりませんが、日中は学校で落語を体験させて、夜は町民の方を対象に寄席ができるのではないかと思いますので検討していただければ有難いです。

福田次長

ありがとうございます。事務方で検討させていただきます。

森田教育長

各学校、芸術文化活動には力を入れており、本物を見せる体験させることは子ども達の感性を磨くことにつながります。

こういった情報も学校に伝え、学校も情報を収集し検討させたいと思います。

東小学校では体操の元日本代表を呼んで子ども達に見せたり、先程話があった南小学校の東西寄席を行ったり、民間が進めている情報を収集する

事が重要だと感じています。

馬場委員

お話をいただいた件は校長会でお伝えしたいと思います。

今の関連で、以前は「笑育」がありましたね。

本物を見せることで子ども達の刺激になります。

お笑いの芸人の漫才を見せることで、子ども達の表情がどんどん明るくなって表現力が広がったのは事実です。

予算や授業時数で実施できなくなったのは残念でしたので、今後検討していただければと思います。

また、今回、昨年度から2億円の増額で9億を超える教育費の予算要求となっていますが、これもふるさと納税が焼き物業界の皆さんのお陰で素晴らしい効果が上がっていることだと感謝したいと思います。

福田次長

本当に私が財政係長をしていた時分とは随分変わったと思います。

こういった時期に将来に向けて種を撒く事業を行いたいと考えています。

ふるさと納税を収めていただいた方にもしっかりアピールする必要がありますので、使途目的の希望が多い子ども達のために活用させていただきたいと思います。

森田教育長

予算要求が通るよう頑張ります。「よろしくお願いします」との声あり。）

こういった様に予算を付けていただけていますが、学校長には費用対効果も大切にしよう話をしています。

学校は今後成果をどう上げるか説明責任も含め責任を果たす必要があると思います。

また、その成果をアピールする事も大切だと感じています。

そういった事が地域の理解を得ることになりますので、校長に伝えていきたいと思います。

関連しますが、学校の最大の責務は学力向上ですので、その取り組みは最重要課題です。

一方で離席する学習に集中できない児童もいることから、そういった児童に対する支援員の配置は継続したいと考えています。

また、校長会に提案しようと考えていますが、コミュニティ・スクールを通じて地域にそういった児童の支援を行っていただける方がいらっしゃらないか探したいと考えています。

そういった事を通じて地域の支援も受けながら児童の学習環境を整えることも学校に促したいと思います。

他ございませんか

【委員の発言なし】

それでは、報告事項を終わります。

4. 議 題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

森田教育長

議題に入ります。

福田次長

（1）準要保護（就学援助）について事務局提案をお願いします。

就学援助の認定についてご提案します。

次年度、令和4年度の認定に向けての認定になり、12月に全保護者世帯に申請の案内を行い年明けから受付を開始していますので、その第一弾となります。

また、新1年生については、3月に入学準備金を支給したいため1月からの申請受付としているところです。

今回は、①継続申請 22件(世帯)、②新規申請 3件となっており、うち新規申請の内、経済的理由が2件、児童扶養手当受給が1件となっています。

それぞれの申請内容については、お手元に資料を配付していますので、それにて説明します。

・別添資料（終了後回収）に基づき説明

なお、今回の申請について、経済的理由については、町の基準を満たしており、児童扶養手当についても受給を確認していますので、認定について問題ないものと事務局として考えています。

以上ご提案しますのでご審議の程よろしくをお願いします。

森田教育長

事務局から説明がありましたが、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

谷口委員

準要保護は一人親の家庭だけではありませんよね。

福田次長

経済的に困っている世帯も対象で国の基準を準用して算定しています。資料の①と②が該当します。

谷口委員

分かりました。

森田教育長

他ございませんか。

福田次長

現在児童生徒190名前後が対象となっており、今後、同意規模の申請があるものと見込んでいますので、次回以降の定例会でもお諮りすることとしています。

馬場委員

認定は増えていますよね。

福田次長

私が教育委員会に配属された当初は50名程度でした。

制度の周知を重ねて保護者についてもご理解が進んでいるものと思います。

他市町に比べると認定率は若干低い傾向がありますので、今後の制度の周知を図りたいと考えています。

小柳委員

入学準備金は一昨年から開始していますね。

福田次長

そうです。新入生の家庭には10月に行う就学時健診の折に申請書類を送付していますので、積極的に検討していただければと思います。

小柳委員

新入学準備金はどの程度が対象になりますか。

福田次長	平均の認定率が20%を切る位ですので、1学年125名程度ですので概算では25名前後が対象になるものと見込んでいますが、今から申請が上がってくると思います。
森田教育長	他ございませんか。 【委員の発言なし】
委員	それでは認定でよろしいでしょうか。
森田教育長	はい【出席者全員で認定されました。】 ありがとうございました。 それでは、次の議題に移ります。

2) 波佐見町奨学金返済支援費補助金の創設について

森田教育長	(2) 波佐見町奨学金支援費補助金の創設について、提案をお願いします。
福田次長	先程ご説明したとおり令和4年度予算編成が行われていますが、教育委員会の新規事業として、波佐見町奨学金支援費補助金の創設について町長部局と協議しているところです。 制度の趣旨についてですが、波佐見町への若年層の定住・移住及び就労を促すとともにその若年層が抱える奨学金返済の負担軽減を図るために創設するものです。 制度の概要について説明します。 ・資料2に基づき説明 以上でございますが、大学生で例えると二百万前後の奨学金を借りている事例が多いようです。 その返済に苦労しているのが実態ではないかと思しますので、波佐見町に定住や来ていただける若者の返済支援を行いたいと考えています。 月1万円の支援がどうかとの論議があると思いますが、幾らかの支援が出来ればと考えています。 なお、5年間で最大60万円の助成を行うことで考えていますが、波佐見町ものづくり奨学金の返済免除が120万円ですので、その兼ね合いも考慮して60万円の補助上限としているところです。 加えて波佐見町ものづくり奨学金返済免除を除き奨学金の種類は問わないとしていますので、幅広い学生を対象とすることが出来ると考えています。 一方で議会から町の奨学金制度を拡充してはどうかと意見もありましたが、日本学生支援機構をはじめ様々な機関が奨学金制度を設けており条件も町の奨学金制度よりも良い場合がほとんどですので、貸し付けるよりは返済支援をした方が若年層には有利だと判断したところです。以上です。
森田教育長	事務局から提案がありましたが、ご質問やご意見はありませんか。
谷口委員	町内で対象にならない業種はどんなものがありますか。

福田次長 現時点で製造業、認定こども園・保育所、介護事業所を対象としていますので、具体的には公務員、建設業、金融、運送業などが対象外になると思います。

谷口委員 分かりました。

福田次長 コロナ禍であり卒業したらいきなり200万円近くの借金を背負うのが経済的にも厳しいと思いますので制度を検討したところでは。

谷口委員 支援は有難いと思いますが、月1万円よりはもうちょっと支援があった方が実際は助かると思います。

福田次長 国立大学でも授業料だけで月4、5万円の学費が掛かっていますので、その半分だと考えると2万円位の支援があつていいと思います。

福田次長 ものづくり奨学金の支援が120万円となっていますので、同額は厳しいのではないかと思います。

馬場委員 財政当局との協議もありますが、例えば折衷案で1万5千円の支援も検討できると思います。

福田次長 少しでも上げていただければ効果は高いと思います。

馬場委員 他市の市町村で似た制度はあるのですか。

福田次長 佐世保市が同じような制度を既に設けられています。

馬場委員 対象業種や事業所の範囲等が若干異なります。

福田次長 対象業種など難しいところですね。

馬場委員 コロナ禍で奨学金を借り入れている学生が多いと聞いていますので、その返済の一助になればと考えています。

渡邊指導主事 払う側からすれば（月）1万円でも助かると思いますね。

福田次長 返済期間はどうなっていますか。

山下委員 借りた額で決まっています。最長は15年程度だと思います。

小柳委員 計算式がありましたね。

福田次長 利子の有無は関係ありますか。

森田教育長 奨学金には有利子、無利子がありますが、いずれも対象としています。

馬場委員 若者の奨学金返済が厳しいという現実があります。

福田次長 奨学金も給付型にしないと人材育成にはつながらない流れがありますので、そういった観点からは制度の創設が望ましいと考えています。

森田教育長 返済を支援することによって波佐見町がより魅力的な町になるためには、思い切った方が良くもありませんね。

馬場委員 町に貢献する若者を支援することですので、よろしくお願ひします。

福田次長 月額補助金を上乗せすることで町長部局と交渉したいと思います。

森田教育長 それでは、そういった方向でよろしいでしょうか。

委員 はい【出席委員全員で承認されました。】

森田教育長 ありがとうございます。

馬場委員 次の議題に移ります。

【その他委員の発言なし】

3) 小中学校卒業式について

4) 小中学校入学式について

森田教育長
福田次長

それでは、(3)と(4)について提案をお願いします。

小中学校の卒業式及び入学式の日程が決まりましたので、その内容と出席者の割り当てについてお諮りします。

まず卒業式ですが、中学校が3月15日(火曜)、各小学校が3月17日(木曜)、入学式は中学校が4月7日(木曜)、4月8日(金曜)と日程が決まったところです。

今回についても、新型コロナウイルス感染症のため、「告辞及び祝辞なし」、「来賓の案内なし」で行いたいと思います。

ただし、告辞、祝辞は文書にて配布したいと思います。

また、主催者として出席する委員さんの割り当てについてご提案します。

・次第に基づき説明

(卒業式)

- ・ 3月15日(火曜) 中学校(教育長)
- ・ 3月17日(木曜) 東小学校(教育長)
中央小学校(谷口委員)
南小学校(山下委員)

(入学式)

- ・ 4月 7日(木曜) 中学校(教育長)
- ・ 4月 8日(金曜) 東小学校(小柳委員)
中央小学校(教育長)
南小学校(馬場委員)

以上でございますのでご審議をお願いします。

森田教育長

校長会の中でもコロナが収束しても壇上に登壇のうえ告辞や祝辞を読み上げるのは行わず、文書を配付することによって行い、壇上で行うのは校長の式辞のみにしたい意向があります。

思いの部分は文書で確実に伝わりますので、コロナが落ち着いたら来賓はご出席いただきますが、壇上での祝辞は行わない方向としたいと思います。

馬場委員

以前は、それぞれの委員で告辞を考えていましたね。

今は統一していますので楽になりましたね。

随分前ですが教育委員会の告辞の取扱いも検討したことがあります。

随分長い式典ですので、子ども達の事を考えると文書配布が負担軽減になると思います。

現在のやり方で良いと思います。

森田教育長

厳粛な儀式、式典に身を置くことは大切でこれが荒れない成人式にもつながっているとは思いますが、趣旨をしっかりとって緊張ある時間の中しっかりとした卒業式、入学式を行うことが子ども達の理解も深まると思います。

他にご意見はございませんか。

委員
森田教育長

【委員の発言なし】

それでは提案のとおりでよろしいでしょうか。

はい【出席委員全員で承認されました。】

ありがとうございました。

持ち寄り議題は、その他が終了後に行います。

【その他委員の発言なし】

5. その他

1) 令和4年度の行事予定について

森田教育長
福田次長

それでは、(1)についてお願いします。

県市町村教育委員会連絡協議関係の令和4年度の行事日程についてお知らせします。

- ・理事会（教育長、職務代理者） 4月15日（長崎市）
- ・総会及び合同研修会（全員） 5月17日（諫早市）
- ・研究大会（主催：文科省・県、全員）10月31日・11月1日
（島原市）
- ・九州地区教育委員会研修大会 令和5年度（佐賀県）開催

なお、先月の定例会で報告しました研究大会は、文科省・県主催の市町村教育委員会研究協議会（2ブロック）に替えることとなり、その際に島原地区3地区が事例発表を行うこととなりましたので併せてお知らせします。

また、新任教育委員の研修会については未定であり、本町では山下委員さんが未受講でありますので、その取扱いについては県教委連事務局に対応を要望していますので併せてお知らせします。以上です。

小柳委員
福田次長
馬場委員
福田次長
小柳委員
森田教育長

九州地区教育委員会研修大会佐賀大会の開催時期はいつ頃ですか。

10月だと思いますが、全く決まっていないと思います。

以前の大会は7月、8月が多かったですね。

次年度になると概要が分かると思います。

分かりました。

その他も含めございませんか。

【委員の発言なし】

その他の事項を終了します。

4. 議 題

5) 持ち寄り議題について

森田教育長
馬場委員

それでは、持ち寄り議題はございませんか。

書初めについては、教育長から報告いただきありがとうございます。

年々子ども達の中で書写が出来る子と出来ない子の差が広がっており、驚いています。

このため授業の中で基本的な部分について、どの程度行っているか不安にもなりました。

もう何年も行わせていただいています、国語の書写について専門的に置いた方がいいのではないかと感じたところではあります。

大人になった時に字を見れば人格が見えますので、大切な部分ではないかと感じたところではあります。

渡邊先生は現場を見られて何か感じられましたか。

渡邊指導主事

子どもによっては貧弱な字を書く子もいましたね。

私も教頭時代に書写の担当として5年生、6年生の授業に入っていました、その子の特性で指導が十分届かない場面もありました。

習字道具を丁寧に扱わなかったり、授業で服を汚したりする子も多いのが実態でした。

漢字の宿題も出してはいますが、書写に限っては、授業は減少気味で十分に出来ていないのが実情ではないかと思えます。

馬場委員

そういった状況だとは感じていました。

渡邊指導主事

以前でしたか新聞報道で授業数をカットしていた学校がありましたね。

馬場委員

基本が弱いところがありますので最初に毛筆を使う3年生が重要だと思います。

そこで専門的に指導ができればいいと思っています。

渡邊指導主事

糸偏について四角の枠内に収めると綺麗に書ける等の指導をされていましたね。

馬場委員

児童の感想文を見たらそういった気付きを書いている子が半分以上いましたね。

そういったちょっとしたポイントを指導する事で子ども達の字は大きく変わりますので、そういった機会があればと特に感じたところではあります。

森田教育長

専科配置はなかなか難しいところではあります。

校内でも長けた先生がいらっしゃると思いますので、そういった先生方にポイント的な指導をいただく等の校内人事の柔軟な対応も必要かもしれません。

そういった所も町内校長会で話をしてみたいと思います。

馬場委員

あと1点ですが、先日、レストランで食事をしていた時に紙のストローが出てきました。

SDGsの取り組みも町長の年始の挨拶で掲げていらっしゃいましたが、給食のストローが必要なのか感じたところではあります。実態はどうですか。

渡邊指導主事

学校においては紙パック毎日牛乳が提供されており、ストローを指して飲んでおり、紙パックの上部を開いて飲むことは推奨していません。

馬場委員

コップはありますか。

渡邊指導主事

ありません。昔みたいに瓶の牛乳であれば不要なのですが、上を開いて飲むとこぼす可能性がありストローで飲むように指導しています。

谷口委員

牛乳用のコップがあれば良いですね。

自宅でもコップに移して飲んでいきますね。

森田教育長

そういったコップがあれば良いのでしょうか、給食センター所長を通じ

て県の会議等で問題提起をしてみたいと思います。

馬場委員 分かりました。県の会議等を通じて状況を確認してください。

森田教育長 他ございませんか。

谷口委員 町民の方と話す機会があり、身体障害者の方から中央小学校の体育館の入口が東小や南小学校体育館に比べ車椅子等で入り難いとの話を聞きました。（「そうですね」との声あり。）

このため今後、中央小学校体育館の改修工事も予定されていますので、そういった箇所の改善もお願いできればと思います。

福田次長 中央小学校は平成7年の開校ですので、その時の基準で作られていると思われ、後で建設した東小や南小の体育館に比べると入り難いと思います。

おっしゃっていただいた内容については、来年度（令和4年度）の実施設計に折に反映したいと思います。

谷口委員 ありがとうございます。

あと一つあるのですが、役所の職員や議員は上から目線で庁舎に行っても気持ち良くないと言われました。

そういった中でも教育委員会は居心地が良いと言われお褒めをいただきました。

その話の中で教育委員会が総合文化会館に残ると認識されている方がいて、新庁舎に移る事を知らない方がいらっしやいましたので周知が必要と思いました。

馬場委員 町広報紙で周知されてはいますね。（「そうですね」との声あり。）

福田次長 11月頃に職員の挨拶や対応が悪いと投書がありました。

谷口委員 窓口でも声をかけないと出てきてくれないとの話を聞きました。

そういった中で新庁舎になったらどうなるのか不安だとの話もありました。

森田教育長 （教育委員会）事務局の新庁舎移転については、これからも丁寧に周知を行いたいと思います。

前半の職員の対応については、課長会議でも話題になりました。

電話と来客対応は基本中の基本ですので、そういった声があったことはしっかり情報共有を行いたいと思います。

ありがとうございます。他ございませんか。

小柳委員 11月の議会総務文教委員会でもちょっと話をしましたが、（県）窯業技術センターの狩野研究員が銀を釉薬に混ぜて焼成することで大腸菌、黄色ブドウ球菌等の増殖を大幅に抑える陶板を研究開発されたそうです。

そういった陶板・タイルを小中学校のトイレ改修や新庁舎建設の折に一部使用することができないかと思いました。

佐世保で光触媒を手掛ける企業と窯業技術センターがタイアップして開発されましたが、波佐見町のアピールにもつながると思います。

そういった事も含め狩野研究員に内容を聞いていただいて反映できるようであれば検討して欲しいと思います。

また、先日商工会の新春講演会があり、フリーキャスターの伊藤聡子さんの講演を聞く機会がありました。

タイトルは「アフターコロナは地域の時代、これからの企業の在り方」で先程も話がありましたがSDGsの取り組みをベースにした話でした。

人口減少の話題から始まり、東京一極集中とそれに伴い子育てを取るか仕事をとるかの選択があり人口減少に歯止めがかからない現実があるとのことでした。

そういった中に新型コロナでリモートが進み田舎でも仕事ができるなら子育ての両立ができる環境が整うと企業の地方移転も進むとのことでした。

こういった企業が地方に入ってくると地域の企業とコラボするケースもあり新たな産業が生まれる事を実例を挙げて話されました。

和歌山市の軍手の企業が縫い目のない技術を生かしてユニクロとタイアップし、女性用のワンピースを開発し世界中から注文があっているそうです。

また長野県の諏訪市の企業はドローンを使った配達を既に行っているそうです。

ドローンの落下等の危険があり国交省の許可を受けるため河川の上を飛行し、近くの集会所に届ける等の事業を行っているとのことでした。

それはKDDIとゼンリンとタイアップしているそうです。

その他にも岡山県高校でカブトガニを使った研究が企業とタイアップして進んでいるなどいろんな実例を交えて話がありました。

最近は大学生や高校生でも起業する人がいます。

地域の学校において今までにないような社会勉強のヒントになるような話で、教育委員会でも生かせるような内容でした。

ありがとうございます。

森田教育長
山下委員

12月26日まで井石郷のモンネ・ポルトで東小学校の48人が製作したキッズゲルニカが展示されていました。

総合的な学習の中でSDGsを学んだり、道徳であったり図工・美術であったりする中で平和をテーマに巨大な絵を皆で描く取り組みが行われていました。

丁度その絵を見に行ったときに小学校の女の子3人からどこから来られましたかと尋ねられ波佐見町の南地区からと答えました。

逆にどうやってこんな大きな絵を描いたのですかと聞いたら、9つのグループに分かれて、それぞれ平和をテーマに書きましたと返答がありました。

それを一つの絵にまとめるのが大変でしたと話していました。

声かけ一つをとっても緊張しているようでしたが、インタビューが終わると和やかな雰囲気になりました。

先生方もご指導をされていたと思いますが、インタビューにチャレンジできた小学生は素晴らしいと感じました。

ただ絵を描くのではなく、そういったつながりの中で学習する場を与えてくださったのは良かったと思いました。

今回は東小学校だけの取り組みだったかと思いますが、各小学校に広げ

ていただければと感じました。

例えば波佐見町講堂で展示すれば十分な広さがありますので、大きな絵を飾ってもよく見えると思います。

そういった中で来場者の皆さんと児童が話すこと等、チャレンジする機会が出来ると思いました。

森田教育長

東小学校のキッズゲルニカは保護者2名を講師に招き、5・6年生が9つのグループに分かれて描き、最後は一つの絵としてまとめたものです。

その後どうするのかと聞いていましたが山下委員がおっしゃったように地域に向けて展示することが新聞に載っていましたので良い取り組みだと思いました。

これからは地域連携が大切になりますが、東小学校は小規模校のメリットを生かして地域の方々との連携し、ふるさと教育、キャリア教育を進めており素晴らしい取り組みだと思います。

一方で各学校独自性がありますので、それぞれの取り組みを情報共有して学校の実情に応じて取り入れて欲しいと考えています。

そして以前から言っていますが、各学校もっと情報発信を行って欲しいと思っています。

波佐見町講堂で展示することも地域の方々へのアピールにもなります。

また、山下委員がおっしゃったように大人にインタビューすることは大きな学びになりますので、各学校の良い取り組みを校長会で情報共有したいと思います。

山下委員

子ども達も皆で行った達成感があり、そういった子ども達は表現豊かになりますのでよろしくお願いします。

森田教育長

様々な教科で学び合いの活動があり図工でも行っていますが、こういった大きな絵を描くことは初めての活動でした。

また、おっしゃって頂いたように他の教科との連携も重要ですので、今回のように平和をテーマとしたことで子ども達が主体的に活動できたものと考えています。

山下委員

絵が得意でない子は手形を押すこともやっていたので良かったと思いました。

森田教育長

学校に留まらず地域にお知らせしたのも良かったと思います。（「そうですね」との声あり。）

谷口委員

教育現場と行っている事をそれ以外の皆さんにアピールすることは大切だと思っています。

数年前ですが、中学校の英語授業で学んだ英会話を修学旅行先で外国人の方にインタビューする事を行っていらっしやいました。

子ども達は、始めは緊張していたようですが、凄く為になったようでその学年の英語は伸びていました。

そういった取り組みは学力にもつながりますので取り組んで欲しいと思います。

森田教育長

ありがとうございます。

学校外のそういった取り組みが子ども達の学力を伸ばす良い機会になっ

ているとおもいますので校長会にお知らせしたいと思います。

他ございませんか。

馬場委員

お知らせです。中尾上登窯跡で来月20日に野外レストランのイベントがあります。

一流のフレンチシェフを招いて窯跡の段々でその日限りのレストランが開設されるそうです。

先月鬼木であったライトアップの中尾版になるそうですので参考までにお知らせします。

また、ジャパネットのBS自主番組の中で長崎県市町の特集を組むそうで、波佐見町がその第一号として放映予定で、明日から中尾をはじめ町内で撮影があります。

石丸謙二郎さんがお見えになって撮影があるそうです。

波佐見町もこのように注目を浴びており若い方々の力が押し上げていただいていると思いますので、子ども達にも波佐見町は凄い所だと感じ取って欲しいと思います。

森田教育長

そういった若い方々の取り組みを子ども達に紹介したいと思います。

今日はいろんな意見を出していただいて参考になり有難く感じています。

福田次長

小柳委員さんがおっしゃった件については、新庁舎建設室にもお伝えし活用できないか検討したいと思います。

小柳委員

よろしくをお願いします。

森田教育長

他ございませんか。

【委員の発言なし】

- ・ 2月定例会の日程調整

以上で1月の定例会を終わります。

ありがとうございました。

※次回定例会予定 令和4年2月25日（金曜）10：00から
波佐見町総合文化会館

令和4年1月19日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	小柳 音喜
	山下 祐子